



神埼市立脊振中学校 学校だより

樹 人 舎 第7号

令和6年9月5日 校長 牟田美弥子

【学校教育目標】（脊振小中共通）

脊振を愛し、進んで学ぶ、たくましい子どもの育成

【校訓】 和気・立志・報恩

【令和6年度の目標】 **自律：気づき・考え・実行する**

☆『友誼之樹常青』姉妹校・山西大学附属中学校訪問（中国山西省太原）8月21日



中国語でのあいさつに、附属中学生から歓声が上がりました！

感染症拡大のために中断していた姉妹校との直接交流。神埼市のご支援により、實松市長様を団長に、代表生徒6名の姉妹校訪問が実現しました。代表の生徒は次の6つのミッションに協力して取り組み、立派に役目を果たしました。

- ①生徒会長、副会長が中国語であいさつをしました。
- ②全校生徒の英語の手紙と親善アルバムを届けました。
- ③全校生徒が英語で書いた「附属中学生に聞いてきてほしい質問」の答えを、6人で手分けして聞いてきました。
- ④「よさこいソーラン」を全力で披露しました
- ⑤全校生徒が作ったうちわを配り、「脊振音頭」を教え、附属中の生徒と一緒に踊りました。
- ⑥学校紹介のビデオを作り、披露しました。



『友誼之樹常青』

1993年、初めて中国訪日団が来校し脊振中で姉妹校調印式を行った際に、附属中から贈られた言葉。附属中の許傳海校長先生は「両校の友好の絆を、常に青々しい樹木のように、いつまでも続けましょう!」と話されました。

生徒の代表として姉妹校訪問に参加した、生徒会長と副会長の2人から、附属中で行われた交流会について話を聞きました。

交流会の会場に入ったとき、ステージに私たちを歓迎する言葉を書いてあるのを見て、とても嬉しく感じました。また私たち2人が中国語であいさつをして、附属中の生徒のみなさんの歓声が聞こえたときは、「一生懸命に練習してきたよかった」と思いました。

附属中の生徒の楽器の演奏や、踊りを見たときに、歓迎の準備のためにたくさんの時間を使ってくれたことが伝わってきて、附属中のみなさんが私たちを待っていてくださったと実感して、嬉しく思いました。附属中の出し物の中では、生徒の一人から中国の本物の舞踊が披露されたのに感動しました。とても印象に残っています。

今回の貴重な体験を生かし、姉妹校交流を後輩に引き継ぐため、報告を行い、全校生徒で年賀状を送ります。

今後の姉妹校交流についてどのように活動していきたくを尋ねました。

脊振中学生会として、

- ①6人で今回の姉妹校訪問の報告を行う。
- ②これまでどおり、全校で年賀状を送ることを継続する。
- ③今回の訪問では、写真や言葉で学校紹介をしたが、動画で実際の場面を紹介できるようにしたい。今年度は、9月の運動会と10月の文化発表会、3月に3年生から卒業のメッセージ動画を作って送りたい。
- ④手紙を出したい人が、いつでも自由に書いて、学校からまとめて送ってもらえるようにしたい。

1989年に締結した山西大学附属中との姉妹校交流は、学校だけでなく脊振町、神埼市の財産でもあります。

『友誼之樹常青』の言葉通り、生徒が主役となって姉妹校交流を継続・発展できるように生徒会活動を支え、広く地域にもその様子を伝えていきたいと思っています。

☆運動会スローガン『勝ち負け関係なく、最後まで笑顔でつき進め!』(小学生考案)



小中合同練習のようす

中学生のプログラムの順です。まると楽しみましょう!

☆3 中学生徒競走・100m 走、125m 走

☆6 中学生団体・台風の目

☆9 中学生団体・応援合戦

小中合同や団体、親子競技。
今年は競技が増えました!

☆10 小中学生団体・大玉ころがし

☆12 中学生親子・親子でデカパンリレー

☆13 小中学生・よさこいソーラン

☆15 小中学生選抜・紅白対抗選抜リレー

☆教育実習生、がんばっています!



教育実習を行っているのは、卒業生の〇〇〇〇さんです。中学時代は剣道部に所属していました。

中学校の保健体育の先生になることを目指し、現在、鹿児島県の鹿屋体育大学で学んでいる学生です。

全学年の保健体育の授業、1年生の学級活動や道徳の時間に実習授業を行います。運動会の練習や朝の会、帰りの会、給食、部活動など、生徒と一緒に活動しています。

(教育実習期間 9月2日~9月20日)

☆神埼市中学生サミット 8月23日



今回は、市役所の各課のみなさんが参加されました。

生徒会役員は、サミットに参加するために、事前に神埼市が行っている事業について調べ、質問だけでなく、中学生目線での提案を準備して臨みました。

参加報告にきた生徒たちは、「準備していたことだけでなく、その場で考えて自分の意見を伝えた」「自分からグループの代表になり話し合いの内容を発表した」と話してくれました。また、「サミットの経験を生かし、進んで役割を持つなど、学校生活でも頑張ります」と、頼もしい報告をしてくれました。期待しています。

☆そよかぜ荘訪問 8月19日



一緒にゲームをしたり



掃除をしたり



お話をしたり

そよかぜ荘訪問は、本校生徒会が JRC 活動の一つとして長年にわたり大切にしている活動です。利用者の方と和やかにゲームやお話を楽しんだり、丁寧に掃除をしたりする生徒たち。ひととき輝いて見えました。

※生徒の活動に賛同し、活動をサポートしていただいた神埼市社会福祉協議会・そよかぜ荘の皆様、ありがとうございました。